

大分工業高等専門学校		開講年度	平成30年度(2018年度)		授業科目	微分方程式									
<b>科目基礎情報</b>															
科目番号	30C304		科目区分	一般 / 必修											
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1											
開設学科	都市・環境工学科		対象学年	3											
開設期	前期		週時間数	2											
教科書/教材	齊藤 純一 他, 「新微分積分II」・「新微分積分II問題集」, 大日本図書														
担当教員	藤本 敦寛														
<b>到達目標</b>															
(1)工学や自然科学に現れる現象に対して、微分方程式を立てることができる。(定期試験と課題) (2)基本的な1階微分方程式を解くことができる。(定期試験と課題) (3)基本的な2階微分方程式を解くことができる。(定期試験と課題)															
<b>ルーブリック</b>															
評価項目1	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安											
	工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができ、その解を求めることができる。.		工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができ。.	工学や自然科学に現れる簡単な現象に対して、微分方程式を立てることができない。											
評価項目2	1階微分方程式の(一般)解を求めることができ。特に、変数分離系や、同次系について求めることができます。		基本的な1階微分方程式の解を求めることができます。	基本的な1階微分方程式の解を求めることができない。											
	評価項目3		基本的な2階微分方程式の解を求めることができ、さらに連立微分方程式や非線形な2階微分方程式の解を求めることができる。	基本的な2階微分方程式の解を求めることができます。											
<b>学科の到達目標項目との関係</b>															
学習・教育到達度目標(B1)															
<b>教育方法等</b>															
概要	1階および2階の微分方程式の解法を学ぶ。特に2階微分方程式については線形微分方程式を中心に学ぶ。 関連科目：基礎数学I・II、微分積分I・II、線形代数、応用数学II														
	授業の進め方・方法														
注意点	黒板を用いた対面授業の手法をとる。基本的な1階および2階の微分方程式の解を求める手法を学ぶ。  課題ノート・課題プリントは、指定された提出日を厳守し必ず提出すること。  総合評価： 達成目標の(1)～(3)について2回の定期試験と課題で評価する。 総合評価=2回の定期試験80%+課題20%とする。 総合評価が60点以上を合格とし、総合評価が40点以上60点未満の場合は再試験を実施する。なお、出席状況・授業中の態度により10%を上限として減点することがある。														
	<b>評価</b>														
<b>授業計画</b>															
		週	授業内容	週ごとの到達目標											
前期	1stQ	1週	微分方程式の意味 微分方程式の解	・微分方程式の意味を理解する。 ・微分方程式の(一般)解の意味を理解する。											
		2週	変数分離形	変数分離形の微分方程式の解を求めることができる。											
		3週	同次形	同次形の微分方程式の解を求めることができる。											
		4週	1階線形微分方程式	1階線形微分方程式の(一般)解を求めることができる。											
		5週	2階微分方程式の解	2階微分方程式の(一般)解を表すことができる。											
		6週	2階線形微分方程式	2階線形微分方程式の一般解の性質を理解する。											
		7週	定数係数齊次線形微分方程式①	定数係数齊次2階線形微分方程式の一般解を求める公式を導く。											
		8週	定数係数齊次線形微分方程式②	公式を利用して、基本的な定数係数齊次微分方程式が解ける。											
後期	2ndQ	9週	前期中間試験	試験で理解度を確認する。											
		10週	定数係数非齊次線形微分方程式①	基本的な定数係数非齊次線形微分方程式を解くことができる。											
		11週	定数係数非齊次線形微分方程式②	応用的な定数係数非齊次線形微分方程式を解くことができる。											
		12週	いろいろな線形微分方程式①	基本的な連立微分方程式を解くことができる。											
		13週	いろいろな線形微分方程式②	定数係数でない線形微分方程式を解くことができる。											
		14週	線形でない2階微分方程式	線形でない微分方程式を置換や変形を行い解くことができる。											
		15週	前期期末試験	試験で理解度を確認する。											
		16週	前期期末試験の解答と解説	解けなかった問題を理解し、解けるようにする。											
<b>モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標</b>															
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル		授業週									
基礎的能力	数学	数学	数学	微分方程式の意味を理解し、簡単な変数分離形の微分方程式を解くことができる。		3	前2,前3,前4								

				簡単な1階線形微分方程式を解くことができる。 定数係数2階齊次線形微分方程式を解くことができる。	3	前4
					3	前7
<b>評価割合</b>						
総合評価割合	試験	課題	合計			
基礎的能力	80	20	100			
専門的能力	50	15	65			
分野横断的能力	20	5	25			
	10	0	10			